

福島県PTA連合会会報
第5号_S52.02.01

県連Pふくしま

発行所
 福島市南平8の8
 福島第四中学校内
 福島県PTA連合会
 発行人 渡部英治
 印刷 第一印刷
 23-3232(代)

第25回福島県PTA研究大会（須賀川市）

大会を反省して

岩瀬連P会長 池田義隆

皆様方の深いご理解とご協力に支えられて9月10、11の両日にわたる第25回県PTA大会須賀川大会が、つつがなく終ることが出来ました。

ご参会頂いた方々も我々の予想の1,600名を遙かに超える2,000名を凌ぐ数となり、嬉しい悲鳴と共に至らぬ点、目の届かぬ点があるのではないかと心配が気になって居りました。我々は「県PTA今後の発展のために、意義ある舞台にしたい」と言う考えで、それには一人でも多くの方々を、そして全部の人に「参加してよかった」と言われる大会にしようと願い、それにはよき講師を招き、心のこもった大会にすることであると言う理念に立ち、準備して来たわけであり

第1日の9日は、市体育館、須二小、須三小、阿武隈小、市中央公民館の5会場に分れて分科会がもたれ、各分科会会場共超満員で活発な発言の下に盛会裡にすすめられ、いずれの分科会会場共、「心で結ぶ須賀川大会」をモットーに運営され、ほぼ満足せる第一日を送ることができましたが、前日より台風接近のニュースが流れて居り、九州上陸を伝えて居ったためこれに心が捕われて気が気でなかったのです。と申しますのは、本大会の目玉とも言うべき草柳先生が実は沖縄から九州（鹿児島）に移り講演中であつたからです。本大会に必ず間に合うよう、神にもすがる気持で草柳先生の自宅、或いは講演先にと電話連絡も20数回に及び、或いは航空会社、羽田、鹿児島、或いは新幹線の国鉄当局等にも連絡をとって居ったわけです。

第2日の11日の朝に至り、台風で飛べない事を確認したため緊急理事会を開き、講演の時間の処理について協議いただき、繰あげ散会の意見が多い中で、各ブロックより「PTA前進のためにかく提言する」と言うアワーにしたいと主張してこれを承認して頂き、会員の足を留めるために昼食後発表することにして、第2日の幕をあけたわけです。朝のうちは好天に恵まれましたが、時々わか雨があたりしてどうも気になる天候にいらだちさえ覚えながら進行を見守りました。市体育館は超満員で立って居る会員も多く、申しわけ



ない気持で一杯でありましたが、天候を気にして浮足だつて居る人々も多く、又体育館の入口付近は混雑を極めて居りましたが午前の部もスムーズに進行、昼食アトラクションは、大東中の吹奏楽、古寺山の自奉楽、須賀川おかあさんコーラスの合唱と続き、会員の大喝采を拍しながら好評裡に終ることが出来ました。午後に入り本大会中最も残念な事を申し上げなければならぬ時間となり、「私は此の様なハプニングをご参会下さった同志の皆さんに誠に申しわけなく、断腸の思いで申し上げなければならぬ事を何とぞご理解頂きたい」と前置きし、「草柳大蔵先生が、九州で講演中でしたが、今回の台風で飛行機が欠航となり、来られなくなり、先程迄電話連絡も30回に及ぶ努力にも不拘本大会の最大の目玉である講演を中止せざるを得なくなりました事は誠に申しわけなく、伏してお詫び申し上げますと共に、それにかわってPTA前進のための提言を発表して頂くアワーにしたいので何とぞ御賛同頂き、名誉ある本大会が最後まで盛会裡に終ることが出来ますよう、深いご理解ご協力を心からお詫び傍々お願い致します」と挨拶しましたが、此の挨拶が終るやいなや約7～8割の方々は会場を後にしてしまった事は大会運営役員一同本当に心さびしく、最後にいわせ会員で拍手で送る事も出来ぬまま散って行かれた会員の方々には誠に申しわけなく思つて残念でなりません。然し、残れる300～400名の方々に提言をして頂きましたが、熱誠溢れる発言の下に有意義なアワーとして充たす事が出来た事は、せめてもの慰めでありました。

「講師さえ来て居れば文句のない大会だった。残念だがハプニングをあのような時間にした事は賢策であった」と言われホッとして居るものの、いわき大会以来、心のこもった意義ある密度の高い大会にしようと申し合せて今日迄80回以上の（小さい会合を含めて）ミーティングをもって準備して来た我々にとってこれ程残念に感じた事はなく、酷い痛手として今尚悔やまれてなりません。

然し、友愛と寛容の精神に富む、P T Aの温いご理解といたわりの言葉に支えられながら大会の重荷を下

し、大会を引受けて以来終了迄のプロセスを走馬灯の如く脳裡をかけ巡る思い出に更りながら大会役員諸氏の努力をねぎらいながら参加者各位に御礼とお詫びの心で万感胸に迫る想いであります。

この須賀川大会が今後の豊かな人間育成につとめ、子供達のしあわせを心から願うP T Aの活動に少しでも糧となれば大変嬉しく幸せと思えます。

ご参会の皆様にご心から御礼申し上げますと共に大会関係の皆様へ、心から深甚なる感謝とご慰労の意を捧げ所感にかえさせていただきます。有難うございました。

大会宣言

激動する現代社会にあって、次代を背負う調和のとれた健全な青少年を育成していくため、人間教育の重要性が今日的課題となっている。

そのためには、学校教育が現代社会の要求に即応する教育内容の改善、健全な人間形成を果すための教育諸条件の整備、充実等、早急にしかも抜本的に措置すべきことが要望される。

このときにあたり、私たちは、本大会の成果を尊重し、よき両親、よき教師となるために、さらに子どもたちのしあわせをめざし、積極的な研修活動をとおして、P T A本来の活動に組織をあげて前進することを誓うものである。

ここに、つぎの事項を決議し、会員自らの努力とともに関係当局に対し、その実現を強く要望する。

以上宣言する。

記

- 生涯教育の立場から、社会教育関係団体の育成強化の施策を推進すること。
- 豊かな人間形成をはかるための教育環境を整備すること。
- 子どもをとりまく健康安全対策の万全を期すこと。
- 地域の実情に即し、高等学校の増設・増員につとめること。
- 小・中・養護学校の教育費を大幅に増額し、父母負担額を軽減すること。
- 在学青少年に対する、P T Aの果す役割を明確にし、適切な指導対策とその健全育成を助長すること。
- 教職員の定数を改善すること。
- 特殊教育、へき地対策および過疎地域の教育のいっそうの振興を促進すること。
- 国庫補助対象備品の設備基準を再検討し、その改善を行なうこと。
- 学校管理下外の傷害保険、P T A安全互助会への加入を促進すること。

昭和51年 9 月 11 日

第25回福島県P T A研究大会須賀川大会

▼昭和51年度・年間事業計画

福島県P T A連合会

月	日	行 事 内 容	理 事 会	事 務 局
4	5	○ 郡市連P 総会		○ 組織構成
		○ 郡市連P 組織決定		○ 総会準備
6	2 (水)	○ 県連P 総会 ○ 全日P 理事会		○ 県P 表彰 内申準備
7	上旬・中旬	○ 郡市連P 研究大会		○ 全日P 参加者要請 ○ 県大会準備
7	中旬	○ 県大会要項編集		○ 依頼状発送
8	20 (金) ~ 21 (土)	○ 全日P 盛岡大会 ○ 東北P 盛岡大会		○ 被表彰者 団体個人 申請
9	10 (金) ~ 11 (土)	○ 県連P 須賀川大会 ○ しんぶん発行(第1回)	○ 理事会 9月9日(木)	○ 宣設起草 ○ 大会運営
10	上旬			○ 陳情文作成
11	上旬	○ 教育予算確保こんだん会 ○ 対県陳情	○ 理事会	
12	上旬	○ しんぶん原稿依頼		○ 編集準備
2	上旬	○ 52年度諸計画作成		○ 事業案予算案の作成
3		○ 52年度諸計画予算案の審議 ○ しんぶんの発行(第2回)	理事事務局 長合同会	○ 合同会の準備 ○ 安全互助会加入の促進

挨拶

福島県PTA連合会長 渡部 英治



本年度の総会において会長に選任されました渡部でございます。「わたべ」と書いて「わたなべ」と読みます。伝統ある県PTAの重責を担うに当たり、身の引きしまる思いであり、非才の人間であります。が会員の皆様と役員諸氏のご協力により職責を果たしてまい

たい所存ですので宜しくお願い申し上げます。

さて昨今の社会状況を見ますに、昭和30年代より続いてきました経済の高度成長は、市民の生活をかなりのスピードで向上を果して来ました。その反面、資源のとぼしい、国土の狭い国であることを忘れがちになりました。礼、智、仁の昔から伝えられている教訓も通用しにくい歴史の時間帯を過ぎて来た訳であります。親と子、兄弟、友人、師弟の各関係が縦の関係否定に走り、人間関係を並列の関係に置き換えて考える風に見える世代になっていた訳であります。従って、教育論そのものが縦、横から幅広い論議をかもし出し、学歴社会を容認する所以であったのかもしれませんが。

この豊かな物質文明期が20年近く続いていたので、これが当り前とされ、市民の生活志向が消費拡大の方向で固定化して来た訳であります。

ところが昭和48年の石油パニックは日本人全体がや「はだかの王様」に近かったことを思い知らされました。ところが教育レベルの高度化と多様化は100%でなかったにせよ作用し、民族性と云われる順応力と合せて発揮し、ショックを最少限に押さえられたと云われているようです。

学歴社会は批判されるべきでしようが、実社会に生かされる学問と教育は、大人にとっても子どもにも大切なことであると思います。

例えば上手ではありませんが、現代のように科学が進み、技術の粋をあつめて予告する天気予報のことですが、村の古老のお天気見より確率が格段に高いと云うひとは少ない。人間生活の長い経験から編みだされた「ことわざ」格言、教訓について学校、家庭、社会のそれぞれの分野で活かせる教育と訓練を見なおす時期に来ているのではないかと思います。

学校の成績がよくても一般社会の常識をきちんと身につけていなければいけないと思います。また教えられていないようではその子どもは果して健全な成長と云えるでしょうか。

「鉄は熱いうちに」と云う。子どもの教育に大切な時期に親のきっちりした態度も大切であります。学校まかせの態度は決してよくありません。

PTA活動に積極的に参加され、社会勉強の場とし

てご活用されることを希望いたしますのであります。PTA活動に「かべ」を感じられた時は考えを原点にもどして下さい。そして再度大道を歩まれ、PTA活動を盛り立てて下さるようお願い致します。

常に県Pに多大のご協力を賜ります各都市連Pの方々、会員各位に厚く御礼を申し上げご挨拶いたします。

就任挨拶

県連P事務局長 石川 光夫

変動極まりない現代社会において、児童生徒の健全な成長を願って活発な活動を進めておられる会員の皆様に、心から敬意を表します。

教育の場は教育だけでなく、社会の中でも家庭の中でもさまざまな機会や場をとらえて行なわれなければならないと思います。PTAが当面するいろいろな問題を分析し、それを研究したり話し合ったりして、PTA本来の活動をよりいっそう高めて行かなければならないと思います。

県連合PTAの活動もますます充実しているとき、本年4月から事務局長を命ぜられ、その責任の大きさを痛感しております。

皆様のご協力を得て、本会の活動が明るい雰囲気の中で、円滑に進められ、事務局としての機能が充分発揮されるようつとめて参りたいと思います。何とぞよろしくご指導の程お願いしてごあいさついたします。

就任挨拶

県連P事務局長 永井 七郎

この度、福島県PTA連合会事務局専従として、昭和51年12月より就任いたしました。

前任者千葉昇先生は、多年の経験と力量をおもちになり、現在まで県連Pを育てて参りました功績者でございますが、その重責のあとを継いで就任することは、誠に不安でございます。然しながら、県連P会長さん始め、各役員、県PTA各位のご指導、ご鞭撻をいただき、専心努力する覚悟でございますので、何卒よろしく願い申し上げます。

❖表彰のお知らせ❖

▽日本PTA全国協議会感謝状

【個人】 永山 昇 (福島県PTA連合会前会長)

▽日本PTA全国協議会表彰状

【団体】

- ・いわき市立平第二小学校父母と教師の会
- ・伊達郡飯野町立飯野中学校父母と教師の会

【個人】

(故)岡村 寿夫 福島県PTA連合会前副会長

長谷川重夫 福島県PTA連合会前理事、監事
 小島 賢二 " "
 大越源三郎 福島県PTA連合会前事務局長

【個人】

- ・永沼芳男 (南会津郡連P会長)
- ・菅沼敏久 (耶麻郡連P会長)
- ・田中秀雄 (相馬郡連P会長)

▽東北七県PTA連絡協議会表彰状

【団体】

須賀川市立須賀川第二小学校父母と教師の会

昭和51年度福島県PTA連合会役員・事務局組織

役 職	氏 名	住 所 (電 話)	P T Aにおける地位
会 長	渡 部 英 治	会津若松市米代一丁目5-12 ☎ (02422) 7-0994	若松市連会長 若松三中全会長
副 会 長	池 田 義 隆	須賀川市弘法坦151 ☎ (02487) 5-3356	岩瀬連P会長 須賀川二小会長
"	菅 野 源 枝	伊達郡飯野町大字飯野字西志保井1 ☎ (024562) 2325	達南連P会長 飯野中会長
"	佐 野 弘	耶麻郡塩川町高道1551 ☎ (02412) 7-2021	耶麻連P会長 塩川中会長
"	古 山 久四郎	原町市南町3丁目23 ☎ (02442) 2-4144	相馬連P会長 原中一中全会長
"	古 関 富 男	福島市立第一小学校 ☎ (0245) 23-1366	県小学校長会会長 福島一小校長
監 事	山 崎 善兵衛	いわき市平字揚土1 ☎ (0246) 23-1744	いわき市連P会長 平一中全会長
"	清 水 文 夫	耶麻郡猪苗代町古城町101 ☎ (02426) 2-2044	北会津連P会長 猪苗代小会長
"	根 本 伝	東白川郡鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作130-4 ☎ (024703) 202	東白河連P会長 鮫川中会長
日P代議員	古 山 久四郎	原町市南町3丁目23 ☎ (02442) 2-4144	相馬連P会長 原町一中全会長
"	江 川 雄 進	大沼郡会津高田町字布才地570 ☎ (024254) 2352	大沼連P会長 高田一中全会長
"	高 橋 サ チ	郡山市鶴見坦1-9-13 ☎ (0249) 23-0161	郡山市連P副会長 薫小副会長
日P控代議員	吉 田 福 雄	郡山市中田町中津川字町田前475 ☎ (0249) 73-3311	郡山市連P会長 御館中会長
"	佐 藤 祐 禎	双葉郡大熊町大字夫沢字中央台830 ☎ (024032) 2056	双葉連P会長 大熊中会長
"	斎 藤 タ ケ	福島市腰浜町5-33 ☎ (0245) 35-5342	福島二小副会長

◇事務局 福島市南平5の8 福島市立福島第四中学校内

役 職	氏 名	勤 務 校	職 名	電 話
事 務 局 長	石 川 光 夫	福島第四中学校	校 長	福島 (0245) 35-4241
庶 務 部 長	酒 井 春 雄	"	教 頭	"
研 修 部 長	目 黒 衛	湯野小学校	校 長	飯坂 (02454) 2-2649
会 計 部 長	小田切 博	矢野目小学校	校 長	福島 (0245) 53-4536
副 部 長	今 井 安 富	渡利小学校	教 頭	福島 (0245) 23-5400
広 報 部 長	菅 野 健 樹	飯野中学校	校 長	飯野 (024562) 2325
事 務 長	永 井 七 郎	福島第四中学校		福島 (0245) 33-7342

事務局移転のお知らせ

今まで県連P事務局の臨時連絡所として福島県農業共済会館ビル内（共栄火災）で安全互助会の事務を兼ねて行っていましたが、去る12月1日に福島第四中学校に移転統合いたしました。

記

1. 県連P事務局同安全互助会事務局
福島市南平5の8 福島市立福島第四中学校内
2. 連絡電話番号（本会専用電話） 福島局 (0245) 33-7342
3. 郵便番号 〒960
4. 安全互助会口座番号
福島市東邦銀行中町支店（従前通り） - 9 4 7 2 2 -
5. 県連P会計 福島市立渡利小学校内（従前通り）

第24回全国PTA研究大会 盛岡大会

—本県より63名が参加—



8月20日、21日盛岡市で開催された全国大会は、七千余名の会員を集めて、岩手県体育館において盛大に開催された。

開会式。当日出席予定の永井文部大臣が政情のため欠席、大臣に代って社会教育局長の古屋局長が祝辞を代読され、したがって予定されていた大臣の講演は、各ブロック代表による日本PTAへの提言に変更された。

分科会。研究大会第一日は岩手県民会館ホールほか七会場において、分科会が開かれた。北は北海道 150名、南は沖縄 330名を含め、全国各地からの参加者は終日、熱心に実践報告や研究発表に耳を傾けていた。

- ▽第一分科会 総務財政（県民会館大ホール）
- ▽第二分科会 成人教育（岩手県公会堂）

- ▽第三分科会 厚生（教育会館）
- ▽第四分科会 学校給食（サンビル）
- ▽第五分科会 公害対策（城南小）
- ▽第六分科会 教育困難（高校会館）
- ▽第七分科会 文化マスコミ（下の橋中）
- ▽第八分科会 母親部会（県民ホール）

……………第七分科会に出席して

バスから降り、盛岡場を南に北上川の支流中津川の堤に沿って、小雨のなか20分ほど歩いて会場の下の橋中学校に着く。会場は体育館であったが校舎を含めて、施設のよいのに感心した。

約七百余名の参加者のもと、研究、討議が進められた。

主題 現代社会での家庭モラルの向上はどうしたらよいか。（発表・沖縄）

・教育隣組活動の目的として子どもを守るため、地域ぐるみ、町ぐるみの活動をしている。

先ず子どもを健全に育成するため、大人自身の研修の場として、

1. PTA活動の中における教育隣組活動
2. 公民館活動としての教育隣組
3. 社会教育の中での教育隣組を通して行われるなど望ましい家庭のあり方などが発表された。

各地区の研修会状況

○郡山市連P

本年度の研修大会は、例年のとおり市立中央公民館との共催で、郡山市民会館に1,500名の会員参加で盛大にとりおこなわれました。

午前中は劇作家田中澄江先生を講師として、『親と子の間』についての講演会。田中先生と山々との想い出などからはいつ、近頃の若者の人生観そして大人の彼等を理解することの類型化のこと。深く人情の機微にふれ、社会的洞察をそなえた論調は全会員に多大の感銘を与えました。

午後は、意見発表・討議形式の研修会。小中5ブロックと幼稚園・高校の代表が熱弁をふるう。それぞれ

のブロックが、研究テーマ『望ましいPTAの組織運営はどうあればよいか』のもとに、組織運営・広報活動・厚生活動・校外補導活動・環境整備活動の各分野を分担し、それぞれのブロック研修会での結果を積上げての発表だけに実に迫力があつた。

この研修を推進するにあたっては、市教育委員会の力添えを得て、2回にわたって、成人教育指導者講習会がもたれ、研修方法はもちろんPTA活動本来の姿の追究がなされた。

関係各機関、そして組織内の指導者、更には一人ひとりの会員の力が結集しての市研修大会であることを参会者一同が感じとったように思われる。

今後この研修が有効な累積となっていくこと、そして各単Pの日常活動が現実プラスに向って変容してゆくことをみんなで信じてがんばっていくつもりです。

○南会津郡連P

今年度の本郡連P研究大会は、組織改正後の新しい体制のもとに、その第1回大会を下記のとおり開催されましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1. 期 日 昭和51年 8 月22日(日)
- 2. 場 所 田島町立荒海中学校講堂
- 3. 研究主題 「子供の健全な育成指導をどのように進めたらよいか」

4. 日 程

8.30 9.30 10.00 12.10 13.00 14.00 15.30 16.00

受 付	開 会 式	分 科 会	昼 食	ア ク シ ョ ン ラ ン	全 体 会	講 演	閉 会 式
--------	-------------	-------------	--------	---------------------------------	-------------	--------	-------------

- 5. 表 彰 開会式の席上において、個人42名、
団体4の表彰を行う。

6. 分 科 会

- 第1—これからのPTAはどのように運営したらよいか。
- 第2—会員の教養を高めるための活動はどのようにしたらよいか。
- 第3—子供に健康安全を身につけるにはどうしたらよいか。
- 第4—子供の健全成長をみぞす文化活動はどう進めたらよいか。

各分科会毎に問題提起者2名、助言者1名、その他必要な係を配置し、時間ぎりぎりまで、熱のこもった研究討議が行なわれた。特に第4分科会は、県大会の発表にもつながっていたので、充実したものであつた。

- 7. 講 演 講師 会津高田町 大越大雄先生
「家庭教育の在り方」について有意義な講演を聞く。
- 8. 当日の参加会員数 300名

○石川郡連P

石川地方連合PTA研究大会は、9月27日、「PTA活動に積極的に参加しよう」という大会スローガンのもと、37単Pから425人の代表が参加して盛大に開催されました。

会場の石川小学校では、早朝より当校音楽部の児童による「PTAの歌」がテープで流され、大会はいやが上にも盛り上がりました。

大会は午前9時より開会式があり、席上PTA活動に特に功績のあつた団体3と個人20の方々の表彰もありました。開会式終了後10時から、ただちに分科会にはいり、5つの分科会で、それぞれのテーマにより、活発に討議が行われました。

第1分科会(運営)では、PTA活動のあり方について、第2分科会(教養)では、家庭教育における親の姿勢について、第3分科会(厚生)では、子どもの健全な成長を図るためにPTAはどのようにしたらよいか、という主題で、また第4分科会(環境整備)では、PTAの文化活動の進め方について、そして第5分科会(教育困難)では、過疎地域の教育振興のためのPTAの協力についてと、それぞれ地区の活動状況が活発に述べられ、2時間にわたり真剣に討議されました。

最後に、元郡山第1中学校長神野忠雄先生の「心の教育」という演題の講演があつて、本大会は今後更に互いに研究し合い、積極的に活動することを約束して、午後4時閉会しました。

※※※県連P理事会の動き※※※

○県連P理事・事務局長会

- 1. 日時 3月3日
- 2. 会場 福島県農業共済会館
- 3. 内容 昭和51年度事業並びに予算審議
第25回県P研究大会について

○県連P理事会

- 1. 日時 9月9日
- 2. 会場 須賀川市(虎屋)
- 3. 内容 研究大会運営打合せ

○県連P理事会

- 1. 日時 11月17日
- 2. 会場
- 3. 内容・諸報告(日P、東北P、県P)
・教育予算に関する陳情について
・須賀川大会の反省
・県PTA会費改定について
・県PTA安全互助会の運営について
・県PTA大会(昭和52年度)について

昭和51年度 教育予算に関する陳情 について

去る11月17日、午後1時、県庁二階ロビーに理事集合、知事部局、県議会、教育委員会、市町村関係の四班に分かれて、本年9月の研究大会須賀川大会における決議に基づいた別記、陳情書をそれぞれ提出した。

尚当日は、緊急に来年度の教育予算等に関する県議会の政調会が行なわれていたので、詳しい内容については説明をうけることが出来なかった。

『昭和52年度教育予算に関する陳情書』

教育予算につきましては、来年陳情申し上げ格別のご高配を賜わってまいったところであります。

昭和52年度予算につきましては、さる9月10日11日に行われた福島県PTA研究大会須賀川大会における決議に基づき、別記事項を陳情いたしますので、なにとぞ格別のお取り計らいをお願い申し上げます。

一、社会教育振興のため、指導組織・施設の充実と、PTA指導者の研修の機会の拡充を図られたい。

- ① 県PTA連合会の活動が、いっそう充実するよう補助金を増額されたい。
- ② PTA指導者の研修の機会を更に充実されたい。
- ③ 公立少年自然の家・公民館等社会教育施設の拡充整備を促進されるよう配慮されたい。
- ④ 在学青少年の校外活動を充実するため、体育施設の整備充実と指導組織の充実を図られたい。

二、児童・生徒の健康安全対策を強化するよう指導されたい。

- ① 通学路・歩道橋・横断道路の信号等の増設やスクールゾーンの設定による安全通学の確保を図られたい。

- ② 交通指導員の増員による安全の確保を期せられたい。
- ③ 交通指導奉仕員の事故災害時における災害補償方途を講ぜられたい。
- ④ 学校給食の充実をはかるため物資価格安定についての措置を強力に推進されたい。
- ⑤ PTA安全互助会加入校に対して、会費の補助をするよう指導されたい。

三、地域の実情に即し、公立高等学校の新增設を図ると共に、各高校間の格差是正の方策を講ぜられたい。

四、小・中学校の教育費を増額し、父母負担の軽減を図られたい。

- ① 教育課程の完全実施に伴う必要設備の確保を各市町村に強く指導されたい。
- ② 需要費の増額を、各市町村に強く指導されたい。
- ③ 義務教育諸学校における父母負担額軽減のため根本的な方策のもとに計画的な推進を図られたい。

五、小・中学校教育充実のため、次のように教職員定数の確保を図られたい。

- ① 1学級当り教職員の配当率を引き上げられたい。
- ② 事務職員、養護教諭をすべての小・中学校に配置されたい。

六、特殊学級・へき地教育充実のための施策を推進されたい。

- ① 特殊学級1学級当り教員数2名とされたい。
- ② 養護学校の適正配置を促進されるよう配置されたい。
- ③ へき地児童・生徒の通学費補助金の増額と寄宿舎の舎監制度の確立を図られたい。

七、木造校舎の解消と学校管理や防災についての設備充実をはかるよう指導されたい。

八、小学校・中学校の設備基準法の制定を促進するよう取り計られたい。

◇ 郡市連P紹介 ◇

● 相馬地方PTA連絡協議会

一 研修活動一

(1) 相馬地方PTA大会

8月24日相馬市民会館において開催し、「PTAの本質的な活動をすすめるためにはどうしたらよいか」「会員の教養を高める活動はどうしたらよいか」「学校教育の課題を解決するため、どのように協力したらよいか」等について、研究発表を中心に研究討議を行なった。

(2) PTA実務研修会

役員を対象に、11月11日単PからP1、T1の参加を得て、「集会活動を成功させるにはどうしたらよ

か」をテーマに「PTAの集会をどう精選するか」「PTAの集会を成功させる手だてをどうすればよいか」の2分科会で活発な意見交換を行なった。

(3) 県PTA研究大会への参加促進

本会より参加者1人当り300円の参加費補助を助成し、積極的な参加を要請している。本年度の須賀川大会には100余名の参加を得ている。

一 教育予算確保運動一

(1) 対地教委——本会予算に教育予算確保費23千円を計上し、各市町村連Pが地教委に対して行なう活動に対して助成する方法をここ数年来とっており、たいへん効果的である。

(2) 対県——各市町村に共通する問題については、会長がこれを集約して市町村会に陳情活動を行なうほか、県P連の対県交渉に持ち込むようにしている。

一 連Pの予算概況一

予算規模は約83万円で、収入の主なもの負担金(児童生徒1人当り21円の負担金と、参加者1人当り5500円のPTA大会負担金一単P会員数に案分)59.2万円、市町村からの助成金22万円等である。支出の主なるものは会議費2.5万円、旅費8万円、県P負担金17.5万円、相馬地方PTA大会費44万円、研修費(役員)1.5万円、予算確保費2.3万円等である。

●達南地方PTA連合会

私どもの連Pは、伊達郡の川俣町と飯野町の二町村が一緒になって結成している。学校数は小学校13、中学校3のささやかな連Pである。

事務局は両町二年交換で受け持つことになっており会長も二年ずつで交替している。

両町とも昔から絹の機織業で栄えてきたところで養蚕を主にした農山村で父兄の大部分は農業をやりながら工場等に勤めている人が多い。

(1) 達南連P研究協議会

9月2日、飯野町福祉センターにおいて「PTAの本質的な活動をどのように進めたらよいか」を研究主

題として、分科会のテーマに「会員の教養を高めるPTA活動はどのようにしたらよいか」「教育困難地域の教育振興のためにPTAはどのように努力したらよいか」について研究発表を中心に熱心な研究討議がおこなわれた。(研究発表は事務局担当町村から発表する)

(2) 連Pの予算概況

総予算額10万7千円で、収入の主なもの負担金(児童生徒1人当り23円一昭和52年度から25円)で市町村からの助成金はなく会員数が少ないため、運営は非常に苦しい。

(3) 教育条件に対する陳情

両町村ごとに教育予算及び助成等について陳情なお、ここ近年、中学生の進学率が上昇し、福島市に通学する交通費が大きく、川俣高校の学級増を要望してきた。

(4) 校外補導の強化

連Pの中で最も力を入れて活動している事業であり、交通事故、非行防止、長期休業中の生活指導等、高等学校保護者会と連携して地域ぐるみの児童生徒の健全な育成に当たっている。

昭和51年度 福島県PTA安全互助会加入状況調べ

52. 1. 20

	地 区	単P数	加入校	加 入 児童・生徒	加 入 P T A	計	事故件数		地 区	単P数	加入校	加 入 児童・生徒	加 入 P T A	計	事故件数
1	福 島	66	26	12,898	6,242	19,140	55(1)	11	会津若松	26	15	8,986	1,152	10,138	25
2	達 南	16	4	897	618	1,515	1	12	北会津	21	3	435	0	435	1
3	伊 達	39	18	7,813	4,489	12,302	37(1)	13	南会津	31	3	960	864	1,824	0
4	安 達	50	14	4,656	719	5,375	21	14	両 沼	37	1	145	85	230	0
5	郡 山	72	7	3,376	2,082	5,458	13	15	大 沼	14	3	917	312	1,229	2
6	岩 瀬	44	14	6,079	3,086	9,165	26(1)	16	耶 麻	45	11	4,311	262	4,573	19
7	西白河	43	22	7,861	863	8,724	15	17	いわき	106	8	1,639	1,258	2,897	17
8	東白川	26	4	980	725	1,705	1	18	双 葉	31	1	0	42	42	0
9	石 川	39	29	6,562	372	6,934	21	19	相 馬	53	28	8,848	8,602	17,450	36(2)
10	田 村	52	27	8,756	2,821	11,577	42		計	811	238	86,119	34,594	120,713	332(6)

○事故件数は51年4月1日より52年1月20日まで受付した件数。()内数字は死亡事故。

◇第26回福島県PTA研究大会
塩川大会 実施報告

1. 期日 昭和52年9月6日(火)7日(休)
2. 場所 耶麻郡塩川町
3. 参加予定 2,000名

◇第9回東北PTA研究大会

1. 期日 昭和52年10月初旬
2. 場所 宮城県(開催地未定)
3. 参加予定 7,000名

◇第25回全国PTA研究大会

1. 期日 昭和52年8月26日(金)27日(土)
2. 開催地 北海道(札幌市)
3. 参加予定 10,000名

あ と が き

本年度の研究大会開催地である須賀川連Pの池田会長さんはじめ役員の方々ご苦勞様でした。厚く感謝申し上げます。

長く県連Pの事務長としてご尽力下さいました千葉先生が11月31日でおやめになりました。ほんとうに有難うございました。ご健康をお祈りいたします。

毎年のことですが、早い時期に広報を流したいつもりでしたが、いろいろなことでおそくなり心からおわび申し上げます。

各都市連Pの活動状況について、益々活発な実のある研修が行なわれておりますが、紙面の都合で、紹介できないのが残念です。今後も順を追って連載したいと思いますのでよろしく願います。